

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2004 年 12 月 23 日 (23.12.2004)

PCT

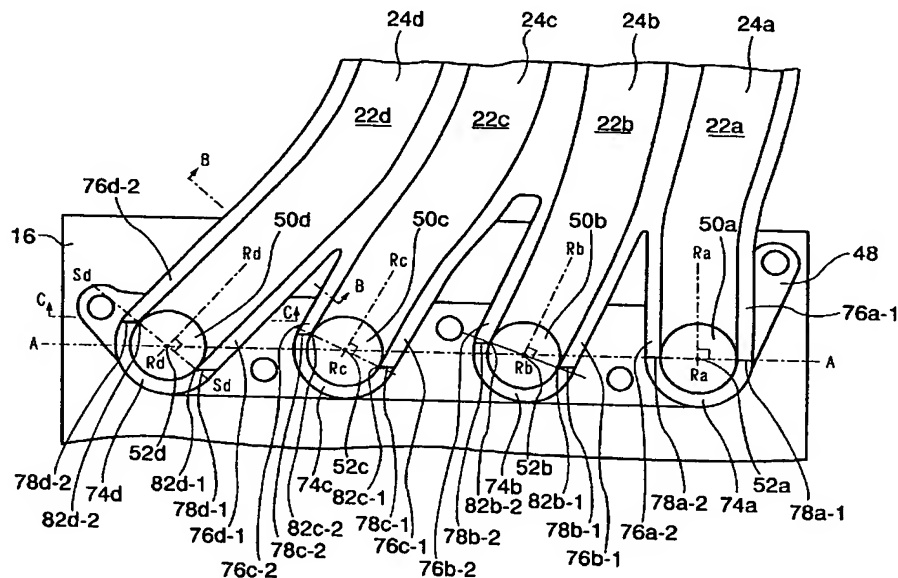
(10) 国際公開番号
WO 2004/111426 A1

- (51) 国際特許分類: F02M 35/10
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2004/007967
- (22) 国際出願日: 2004 年 6 月 8 日 (08.06.2004)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2003-168983 2003 年 6 月 13 日 (13.06.2003) JP
特願2004-168238 2004 年 6 月 7 日 (07.06.2004) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社
ミクニ (MIKUNI CORPORATION) [JP/JP]; 〒1010021
東京都千代田区外神田 6 丁目 1 3 番 1 1 号 Tokyo (JP).
本田技研工業株式会社 (HONDA MOTOR CO., LTD)
[JP/JP]; 〒1078556 東京都港区南青山 2 丁目 1 番 1 号
Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 鬼頭 一和 (KITO,
Kazuyori) [JP/JP]; 〒2500055 神奈川県小田原市久野
2 4 8 0 番地 株式会社 ミクニ小田原事業所内 Kana-
gawa (JP). 井熊 智典 (IKUMA, Tomonori) [JP/JP]; 〒
3510113 埼玉県和光市中央 1 丁目 4 番 1 号 株式会社
本田技術研究所内 Saitama (JP).
- (74) 代理人: 八嶋 敬市 (YASHIMA, Keiichi); 〒1070052
東京都港区赤坂 1 丁目 1 番 1 7 号 細川ビル 7 1 2
Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が
可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,
BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,
ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT,
LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI,
NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG,
SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ,
VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

[続葉有]

(54) Title: SYNTHETIC RESIN FUSION BODY

(54) 発明の名称: 合成樹脂溶着体





(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(57) 要約:

2個の合成樹脂を溶着することでボアに至る通路の断面を理想的な形状にできる合成樹脂溶着体を提供するものである。

中間部材(70)における各先端接合面と各マウント接合面との境界である立上げ境界線(78a-1, 78a-2, 78b-1, 78b-2, 78c-1, 78c-2, 78d-1, 78d-2)の通路側の端を、前記先端接合面(74a, 74b, 74c, 74d)におけるボア側(50a, 50b, 50c, 50d)の内縁に対する前記各マウント接合面の通路側の稜線(84)の接点かまたはその近傍とする。その各立上げ境界線(78a-1, 78a-2, 78b-1, 78b-2, 78c-1, 78c-2, 78d-1, 78d-2)は前記通路側の端を含んで振動基準方向に平行なものとする。